

平成27年度 事務事業評価結果の報告について **資料1**

市では「坂井市事務事業評価実施要綱」に基づき、市が実施している事務事業(=仕事)の対象や目的、内容、費用などを明らかにするとともに、その活動結果や成果を数値化しながら、実績を点検・検証しています。

また、その結果を公表することにより、行政運営の透明性を確保を図っています。

① 事業区分

事務事業は、次の3区分に分けることができます。

No.	事業区分	事務事業数	構成比(%)
1	自治事務(任意的なもの)	297	65.1
2	自治事務(義務的なもの)	141	30.9
3	法定受託事務	18	3.9
	計	456	100.0

◆自治事務とは・・・

法定受託事務以外のもので、市の裁量で実施している事務

○義務的なもの⇒法律、政令により事務処理が義務付けられるもの。

例:国民健康保険の給付、都市計画の決定など

○任意的なもの⇒法律、政令に基づかず任意で行うもの(条例に基づくものを含む)

例:印鑑登録、公共施設の管理など

◆法定受託事務とは・・・

法令により地方公共団体が処理することとされる事務のうち、国または都道府県が本来果たすべき役割に係るものであって、国または都道府県において適正な処理を特に確保する必要があるものとして法令で特に定めるもの。

○国からの受託事務⇒国政選挙、生活保護など

○県からの受託事務⇒県知事、県議会選挙等

② 事業種別

事務事業は、次の8種類に分類し評価を実施しました。

No.	事業種別	事務事業数	構成比(%)
1	ソフト事業	270	59.2
2	ハード事業	37	8.1
3	内部管理事業	37	8.1
4	計画策定事業	0	0.0
5	補助金事業(事業)	48	10.5
6	補助金事業(団体)	17	3.7
7	施設管理事業	33	7.2
8	指定管理事業	14	3.1
	計	456	100.0

◆ソフト事業・・・主にサービスなどの役務を提供する事業

◆ハード事業・・・主に道路や各種施設などを整備する事業

③ 事務事業の評価

担当者評価を受けて、所属長が事務事業の方向性評価を実施しました。

●事業の方向性

No.	事業の方向性	事務事業数	構成比(%)
1	このまま継続します。	382	83.8
2	改善して継続します。	56	12.3
5	完了しました。	13	2.9
4	廃止します。	5	1.1
3	休止します。	0	0.0
	計	456	100.0

●実施主体の方向性

No.	実施主体の方向性	事務事業数	構成比(%)
1	現状どおり実施します。	421	92.3
2	市の関与を拡大します。	0	0.0
3	地域への移管を検討します。	4	0.9
4	民間への移管を検討します。	13	2.9
5	完了しました。	13	2.9
6	廃止します。	5	1.1
7	休止します。	0	0.0
	計	456	100.0

●資金投入の方向性

No.	資金投入の方向性	事務事業数	構成比(%)
1	事業費の増加を検討します。	35	7.7
2	現状を維持します。	382	83.8
3	事業費の縮小を検討します。	21	4.6
4	完了しました。	13	2.9
5	廃止します。	5	1.1
6	休止します。	0	0.0
	計	456	100.0

●人員投入投入の方向性

No.	人員投入の方向性	事務事業数	構成比(%)
1	人員の増加を検討します。	8	1.8
2	現状を維持します。	423	92.8
3	人員の縮小を検討します。	7	1.5
4	完了しました。	13	2.9
5	廃止します。	5	1.1
6	休止します。	0	0.0
	計	456	100.0

平成27年度 事務事業評価 評価結果の内容

事務事業名称	事業区分	事業種別	事業の方向性	判断理由
国際交流事業	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	友好都市関係協議書に基づき、経済交流を軸としながら文化・教育など多方面での交流を検討しながら、相互の発展を促進します。
職員福利厚生事業	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	平成28年度から実施するストレスチェックについて、効率的な方法を検討します。
地域振興事務事業丸岡	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	地域協議会事業は27年度をもって終了しますが、引き続き実施する事業の古城まつりやスポーツレクリエーション祭等については、事業の充実によって集客が図れることから、費用対効果を念頭に置き、企画していく必要があります。
地域おこし協力隊事業	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	地域おこし協力隊の人数および導入地区を拡大していきます。
生活バス路線対策事業	自治事務（任意的なもの）	補助金事業（事業）	改善して継続します。	路線バスは、市民の生活移動手段として必要な交通手段であります。今後、観光面も視野に入れた、コミュニティバス、鉄道路線、駅等を結節した公共交通体系を構築しながら、利用者の利便性に努めてまいります。
コミュニティバス運行事業	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	本格運行から6年半が経過し、主な利用者である高齢者や高校生に定着化している。継続して、利用者のニーズにあった運行ルート、時刻、バス停等の見直しを図ってまいります。
徴収事務事業	自治事務（義務的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	徴収業務は、このまま継続します。収納業務については、口座振替申込み手続きの簡略化が可能となる「ページー口座振替受付サービス」の導入や、新たな納付手段である「クレジット納付」の導入について検討してまいります。
戸籍事務事業	法定受託事務	内部管理事業	改善して継続します。	適正かつ迅速な事務処理、専門性が求められる事務であるため、法規等習得、研修参加による資質向上に努めてまいります。また、本庁、支所間での研修により、統一した運用を図ってまいります。
住民基本台帳事務事業	自治事務（義務的なもの）	内部管理事業	改善して継続します。	自治事務である住民登録事務を、適正かつ迅速に、情報共有、事務効率化等を進めてまいります。
証明交付事務事業	自治事務（義務的なもの）	内部管理事業	改善して継続します。	資質向上に努め、正確、迅速な証明交付事務を進めてまいります。
個人番号カード等交付事務事業	法定受託事務	ソフト事業	改善して継続します。	マイナンバー制度に伴う個人番号カード等交付事務は、今後、順次、国等に情報連携及び民間活用も検討されています。状況に即した改善等を実施しながら、円滑な事業を遂行してまいります。
消費者行政推進事業	法定受託事務	ソフト事業	改善して継続します。	複雑高度化する相談内容等に対応するため、研修参加による、職員及び専門相談員の資質向上に努めてまいります。
心身障害者福祉事務事業	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	障害者プラン推進住民会議に関しては、補助の内容を精査して見直しを図ります。
希望園管理運営事業 三国	自治事務（任意的なもの）	指定管理事業	改善して継続します。	坂井市社会福祉協議会と平成28年4月から3年間の指定管理協定を結んでいるが、建物の老朽化・耐震補強等に当たらないという耐震診断結果に基づき、平成29年4月より、閉園となった三国西幼稚園に事業機能を移転します。
特定疾患特別見舞金支援事業	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	医療制度の法制化により、助成内容の検討を行います。
日常生活用具給付等事業	自治事務（義務的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	真に必要な用具について支給要件の改定を行います。
丸岡総合福祉保健施設管理運営事業丸岡	自治事務（任意的なもの）	指定管理事業	改善して継続します。	指定管理者制度を導入して、民間事業者により運営されていますが、さらに効率的な管理運営を検討していきます。
高齢者活動支援事業	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	老人クラブは高齢者の健康の維持、増進及び外出の創出に大きな役割を担っている団体であるため、会員増強に積極的に取り組むよう指導します。

事務事業名称	事業区分	事業種別	事業の方向性	判断理由
高齢者福祉施設等管理事業	自治事務（任意的なもの）	施設管理事業	改善して継続します。	音楽体操いきいき教室は、教室数を増やし、より多くの方に参加いただくよう取り組みます。施設管理運営については、施設の改善・方向性について検討します。
三国健康管理センター管理運営事業 三国	自治事務（任意的なもの）	施設管理事業	改善して継続します。	平成28年度の改修工事完成までに、教育部局と福祉部局と連携し効果的な管理運営について検討していきます。
一次予防事業	自治事務（義務的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	新総合事業の実施に合わせ事業内容も検討を行います。
二次予防事業	自治事務（義務的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	一次予防事業・包括支援センター運営事業・認知症対策事業の中で、効率的に実施していきます。
生活支援サービス事業	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	新総合事業の実施に合わせ、事業内容の検討を行います。
多子世帯子育て支援事業	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	市の子育て支援施策の事業として、改善して実施します。平成28年度から、第2子に対し30,000円の給付を拡充し実施します。
病児・病後児保育委託事業	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	平成28年度より、三国病院内に公立の病児病後児保育施設を開設します。三国地区に新たな施設を開設することで、保護者への負担軽減と子どもの福祉増進が期待できます。
私立保育所運営費補助事業	自治事務（任意的なもの）	補助金事業（事業）	改善して継続します。	私立保育所の運営に関する補助内容を整理して実施します。
私立保育所特別保育補助事業	自治事務（義務的なもの）	補助金事業（事業）	改善して継続します。	私立保育所の運営に関する補助内容を整理して実施します。
国民健康保険特別会計繰出金	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	法令等の規定に基づき実施していきます。国の制度改革により、平成30年度からは都道府県が国民健康保険特別会計の財政運営を担うこととなります。
健康都市推進事業	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	他の事務事業の見直し・整理を行いながら、健康都市推進事業を継続していきます。
一般廃棄物収集処理事業	自治事務（義務的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	一般廃棄物の適正な処理を行うことで、公衆衛生の向上が図られるとともに、循環型社会の構築のためにも事業継続します。また、粗大ごみ回収の区負担金については、排出重量による従量制で負担するように改善します。
浄化槽設置整備補助事業	自治事務（義務的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	補助対象事業者を見直し、継続します。
労働事務事業	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	平成28年3月4日付けにて坂井市と福井労働局との間で締結した雇用対策協定を基に、首都圏において坂井市内企業の求人情報と合わせ、住みよさランキング上位に認定されたことをPRし、Uターン、Iターンに結び付けるような事業を展開してまいります。
生産調整推進事業	自治事務（任意的なもの）	補助金事業（事業）	改善して継続します。	生産物の収量、品質を確保しながら生産者の経営安定を図るためにも当面は継続する必要があります。しかし、国の農業政策の見直しを踏まえ、平成28年度以降も補助内容の検討を行います。
地域農業サポート事業	自治事務（義務的なもの）	補助金事業（事業）	改善して継続します。	坂井市内には耕作放棄地が存在しており、今後も圃場整備等による不利地解消が困難であることから継続して事業に取り組みます。これまでは坂井地域が中心でありましたが、事業対象地域を市内全域に拡大して取り組んでいきます。
病害虫防除事業	自治事務（任意的なもの）	補助金事業（事業）	改善して継続します。	河川や市道等の道路周辺の公共施設用地に生息する病害虫の駆除であることから、良質米の生産に影響が出ないよう、また農業経営に支障をきたさないよう今後も継続して支援します。
さかいのブランド米創出事業	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	食の安全・安心や環境問題への関心の高まりに対応するためにも、特別栽培米の作付推進、拡大は重要な施策であります。緑肥(クリムソクローバー)を蒔き込んだ特別栽培米の推進を図り、ブランド米「花あかり」の生産量を確保し、米の地域ブランド力を高めていきます。作付面積が未だ不安定であり、農業者にとって魅力のある事業へと改善し、積極的に取り組んでまいります。

事務事業名称	事業区分	事業種別	事業の方向性	判断理由
有害鳥獣捕獲事業	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	銃の規制が厳格化してきており、従来の猟銃によるカラス等有害鳥の駆除は効果が薄れてきており、捕獲檻による個体数の減少を図ります。また、農作物への被害防止に努め、増加傾向にあるハクビシンやアライグマなどの中獣類や、イノシシ、シカなどに対する捕獲・駆除に対しては、地元地区と連携しながら新たな捕獲方法を検討しながら、事業を継続して取り組んでいきます。
市単小規模土地改良事業	自治事務（任意的なもの）	ハード事業	改善して継続します。	緊急性を要し、国県の補助事業で採択されない小規模な事業に対応できるため、このまま継続しますが、多面的機能支払交付金での対応を促進していきます。
土地改良区支援事業	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	多面的機能を有する農業用の施設維持管理は、従来の農地の維持のみならず、近年の都市化による排水や集中豪雨などの災害対応などを管理しており、公共性、公益性が非常に高く、将来的にも必要な事業である。
多面的機能支払交付金事業	自治事務（義務的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	法律に基づく事務ですが、更なる内部事務の見直しと活動組織の事務軽減をおこないます。
春江中小企業センター管理運営事業	自治事務（任意的なもの）	施設管理事業	改善して継続します。	坂井市シルバー人材センターへの全面貸出の検討も含め、施設の利活用の管理方針について明確な方向性を確立します。
商工会活動助成事業	自治事務（任意的なもの）	補助金事業（団体）	改善して継続します。	持続可能な体制強化や効率化の問題をはじめ、自己財源の確保、財政基盤の強化等、自主的な組織変革が求められているとありますので、今後、定期的な協議の場をおとして、あるべき運営補助及び事業補助のあり方について議論を重ねるなか、公益性や妥当性、さらには効果性や効率性を具に検証し、適正な補助金の見直しを図るとともに、市の事業遂行の補完的な役割を明確に担っていただきます。
商業振興対策事業	自治事務（任意的なもの）	補助金事業（事業）	改善して継続します。	地域住民の生活に密着した商店街等が自主的に取り組む事業に対し、継続して支援を継続すべきであると考えますが、事業に対する数値計画と目標管理を徹底させ、事業効果が域内経済の活性化に繋がるよう指導していく必要があると考えます。
工業振興対策事業	自治事務（任意的なもの）	補助金事業（団体）	改善して継続します。	地場産業である繊維産業の振興を図るための新製品開発・販路拡大に対する支援については継続する必要があると考えますが、より効果的な活用がされるための制度の見直しが必要であると考えます。
観光事務事業	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	限られた財源をより効果的、効率的に投じるため、単にお仲間の連携については解除の方向で、各連携事業を検証します。
観光協会助成事業	自治事務（任意的なもの）	補助金事業（団体）	改善して継続します。	観光事業は交流人口の増加を図るとともに、儲ける仕組みを構築することにより、持続可能なまちの活性化を図ることができま。今後、インバウンドの振興や周遊滞在型観光の推進等、時局にマッチした観光施策を展開するうえで組織強化は避けて通ることのできない問題であり、今後、組織の統合や補助率の見直しについて、積極的な協議を進めます。
観光振興対策事業 三国	自治事務（任意的なもの）	補助金事業（事業）	改善して継続します。	事業に対する数値計画と目標管理を徹底させ、事業効果が域内経済の活性化に繋がるよう指導していく必要があると考えます。
観光ビジョン戦略事業	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	委託事業の的確な事業進捗状況や適正な予算執行をはじめ、観光入込客数や域内観光消費の動向等を具に検証し、効果的な事業実績が得られるよう指導していきます。
B-1グランプリ開催事業	自治事務（任意的なもの）	補助金事業（団体）	改善して継続します。	B-1グランプリは北陸三県、滋賀県にわたり、唯一「越前坂井辛み蕎麦であなただの蕎麦で辛み隊」が認定されているため、その希少性が全国に向けたPR資源となっています。その目的はまちづくり、市の活性化ということから、市民の関与が重要であるため、事業主体、市からの助成金を含めて事業内容を見直す必要があると考えます。
ゆあぼ〜と管理運営事業	自治事務（任意的なもの）	指定管理事業	改善して継続します。	指定管理施設として適正な維持管理に努めるとともに、指定管理者をはじめ関連する事業者と建設的な協議を進め、今後の施設のあり方について検討していきます。
丸岡観光情報センター管理運営事業	自治事務（任意的なもの）	指定管理事業	改善して継続します。	指定管理施設として適正な維持管理に努めるとともに、指定管理者をはじめ関連する事業者と建設的な協議を進め、丸岡城の国宝化に向けたなかで本施設のあり方を如何様に取り扱うか等、多角的な検証に努め、あるべき方向性を検討します。

事務事業名称	事業区分	事業種別	事業の方向性	判断理由
まちかど公園管理運営事業 丸岡	自治事務（任意的なもの）	指定管理事業	改善して継続します。	丸岡城周辺散策には公衆トイレと駐車場が必要です。観光客にやさしいまちづくりの一環として、指定管理者に委託して適正に管理を行います。
三国まちなか観光施設管理運営事業	自治事務（任意的なもの）	指定管理事業	改善して継続します。	事業に対する数値計画と目標管理を徹底させ、事業効果が域内経済の活性化に繋がるよう指導していく必要があると考えます。
スポーツ大会運営事業	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	より多くの人々が大会に参加できるよう支援していきます。古城カップサッカー大会補助金の補助率の見直し、坂井地区高等学校野球連盟事業の補助対象経費の内容について見直しを行い改善していきます。
学校給食管理事業	自治事務（義務的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	坂井市の給食業務の方向性について検討します。
寄附市民参画基金	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	改善して継続します。	坂井市が独自で創設した制度（ふるさと納税制度が創設される以前に制定）であり、市民や坂井市出身など、多くの方から寄附で坂井市を応援しております。寄附で市民等が提案する事業が実現できるよう市民参画による意識を醸成させながら引き続き継続していきます。一方で、市民の提案がより大きな事業として実施していけるようたくさんの寄附が集まる仕組みを調査検討していきます。
ふるさと創造プロジェクト事業	自治事務（任意的なもの）	補助金事業（団体）	廃止します。	事業の方向性は残しつつ、都会からの移住者が稼ぐ力を発揮できる事業として新たな事業へ引き継ぎます。
農業委員会委員選挙事業	自治事務（義務的なもの）	ソフト事業	廃止します。	公職選挙法の改正により廃止します。
三国社会福祉センター管理運営事業 三国	自治事務（任意的なもの）	指定管理事業	廃止します。	坂井市社会福祉協議会と平成28年4月から3年間の指定管理協定を結んでいるが、平成29年8月、三国社会福祉センターを取り壊す予定となっているため、指定管理委託契約を取り消す予定。平成29年4月より、閉園となった三国西幼稚園に一部の事業機能を移転する予定です。
地域組織活動育成事業	自治事務（任意的なもの）	ソフト事業	廃止します。	平成29年度で補助率を1/4とし、平成30年度で廃止します。
鶏卵価格安定事業	自治事務（任意的なもの）	補助金事業（事業）	廃止します。	鶏卵生産者の経営の安定と鶏卵の需給及び価格の安定のための国の制度による事業です。鶏卵農家が1戸と限定されてきており、廃止を検討します。

事務事業名	コミュニティバス運行事業			事業コード	02010630106
所管部署	市民生活課	電話	50-3030	記入者名	奈須田 朋志
事業対象	地域住民				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	公共交通網の整備・充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	コミュニティバスの運行
根拠法令	有	道路運送法、道路運送車両法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市公共交通計画			
事業の目的・事業の概要等	市内の公共交通空白地域や交通不便地域の解消、主要な公共施設へのアクセス向上を目的に、主に自動車利用が困難な高齢者や学生等の日常生活の移動手段の確保としてコミュニティバスを運行している。				
	<p>基幹ルートとして、三国地区と坂井地区を結ぶ「三国坂井ルート」と、丸岡地区と春江地区を結ぶ「丸岡春江ルート」がそれぞれ右回りと左回りで4ルート運行し、「いねず」で相互の乗換えを可能としている。また接続ルートとして、旧町内を巡回するルートが合計10ルート運行している。</p> <p>【運行ルート】 (1) 基幹ルート（運行便数1日6便） ・三国坂井ルート（右回り、左回り） ・丸岡春江ルート（右回り、左回り） (2) 接続ルート（運行便数1日3便 左右交互回り） ・三国町：3ルート ・丸岡町：4ルート ・春江町：2ルート ・坂井町：1ルート 合計：14ルート</p> <p>【運行形態】バス事業者への運行委託契約 ・契約事業者：京福バス、ケイカン交通、十郷観光 ・契約期間：平成21年9月1日～平成26年8月31日（5年契約） 平成26年9月1日以降（単年契約）</p> <p>【運行日】 土日、祝祭日を除く平日 【運賃】 ・一般 200円/回 ・高校生以下児童・生徒、65歳以上の高齢者、障害者 100円/回</p> <p>○需用費 ・消耗品費（事務用品） 10千円 ・印刷製本費（時刻表・バス停標示板等時刻表） 168千円 ○委託料（コミュニティバス運行業務委託料） 91,122千円</p>				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	91,122千円	94,208千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	179千円	867千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	22千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	91,301千円	95,097千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	1.10人	7,820千円	1.70人	11,948千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.10人	7,820千円	1.70人	11,948千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	99,121千円	107,045千円	千円	千円	千円	千円		
		国県支出金	25,406千円	25,720千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源								
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		8,459千円	8,435千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	65,256千円	72,890千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	99,121千円	107,045千円	千円	千円	千円	千円				

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度				
成果	接続ルート1便当たりの平均利用者数	目標値	5.0	達成率	5.0	達成率	5.0	達成率		
		実績値	3.4	68	3.4	68	2.8	56	2.7	54
成果	基幹ルート1便当たりの平均利用者数	目標値	12.0	達成率	10.0	達成率	10.0	達成率	10.0	達成率
		実績値	11.4	95	11.2	112	10.5	105	9.5	95
活動	地域公共交通会議開催回数	目標値	3	達成率	3	達成率	4	達成率	3	達成率
		実績値	3	100	3	100	4	100	3	100
活動	OD調査実施回数	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
		実績値	1	100	1	100	1	100	1	100
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								

すぐに行ける改善提案	乗降調査や聞き取り調査、利用状況に基づき、バス停の新設・移設、運行経路の見直し等を行い、利便性の向上を図ります。また、高校生の利用増加や鉄道のダイヤ改正等に合わせ、運行時刻等を随時見直すことにより利便性向上に努めます。
目標年度 平成28年度	
取組状況	OD調査結果や鉄道のダイヤ改正等に基づき、利便性向上のため運行時刻の一部改正を行いました。
中長期的に取り組むべき改善提案	接続ルートについては、全体としては利用者数が横ばいとなっており、個別ルートでは利用状況に大きな差が出ているため、特に利用者の少ないルートの実態を十分に調査したうえで、ルートの再編・統廃合を行い、利用があるルートについては、利便性向上を図ります。
目標年度 平成30年度	
取組状況	平成26年度に接続ルートの一部統廃合を行った状況を踏まえ、OD調査等により接続ルートの利用状況の実態把握を行いました。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断理由	本格運行から6年半を経過し、主な利用者である高齢者や高校生に定着化している。継続して、利用者のニーズにあった運行ルート、時刻、バス停等見直しを図ってまいります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断理由	地域住民の日常生活の移動手段を確保することを目的とした事業であります。円滑な移動手段として路線バスと調整しながら、事業を実施してまいります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断理由	運行委託事業者に対し、効率的な運行経費と安全かつ安定運行を促してまいります。また、利用者増に向けて、利便性向上に努めてまいります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断理由	地域住民の生活維持、確保のための移動手段としての事業であるため、現状の人員で、利便性の向上に努めてまいります。			
すぐに行ける改善提案	乗降調査や聞き取り調査、利用状況に基づき、バス停の新設・移設、運行経路の見直し等を行い、利便性の向上を図ります。また、高校生の利用増加や鉄道のダイヤ改正等に合わせ、運行時刻等を随時見直すことにより利便性向上に努めます。			
目標年度 平成28年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	接続ルートについては、全体としては利用者数が横ばいとなっており、個別ルートでは利用状況に大きな差が出ているため、特に利用者の少ないルートの実態を十分に調査したうえで、ルートの再編・統廃合を行い、利用があるルートについては、利便性向上を図ります。			
目標年度 平成30年度				

【所属長評価】